

(別紙4(2))

事業所名

おばあさまグループホーム 湯之崎

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	コロナ禍で家族と接する機会が減っている中、家族アンケートを実施し、家族の本音の抽出を期待したい。	入居者様やそのご家族様の気持ちを知ること で運営の改善ができる その為にご家族様アンケートを実施し、結果を職員全員に発表、周知行う	ご家族様がホームに対してどういう事に興味を持たれ、どのような事を要望されているのか、ご家族様の思いや本音の部分が聞きだせる様なアンケートを行う 内容はスタッフ全員で考え、良い所ばかりでなく悪い所、出来ていない所を知る目的で作成する事で改善に繋がると思われる 持参していただければその際に話をお聞きたり、郵送されれば電話などで話を伺う アンケートなど苦手なご家族様には、ご面会時やケアプランの説明時などに話を伺う様にする	5 ヶ月
2	11	多忙な時ほど方針の徹底のため、意思統一の場や職員が提案、要望を出せる機会の確保は重要である。工夫に期待したい。	月に一度のミーティングや日々の申し送りなどで職員一人一人が意見を言える事ができ、全職員が納得の行く迄話し合う事ができる	これ迄比較的トップダウンのみの一方的な方向性であったが、何かをする為にどういう取り組みが必要か、申し送りの時など質問などを受ける様にする 日頃より管理者が職員に対して悩みや不満がないかを聴取行い、それらをまとめて施設長へ報告、話し合いの場を持ち解決を目指す その結果についてはミーティングや申し送りにて報告する 又管理者にも言いにくい可能性も考え、スタッフにもアンケートを行い、要望や意見を聞く様にする	6 ヶ月
3	35	昨年、雲仙市では大雨による土砂災害による被害が発生しており、職員の意識も変化が見られるため、今後の万全な対策が望まれる。事業所の立地条件を基にした独自の自然災害マニュアルの作成、備蓄の整備、また初期消火等の自主訓練等、全職員への周知徹底に期待したい。	火災の想定訓練はこれまで、参加職員に偏りもある為全職員が初期消火の技術を身に付ける事ができる 又、当ホーム独自の自然災害マニュアルを作成し、全職員に周知徹底し取り組む事ができる	火災訓練に関しては、職員に地元消防団に入団している者がいる為、自主訓練にて消火器の使い方などを教育し全職員に対し初期消火の技術の周知徹底に勤めたい 又当ホームの建物は特殊でもあり消防署の方の意見を聞いたり、雲仙市の消防マニュアルを基に独自のマニュアルを作成する 担当は防災責任者と災害責任者にて自然災害訓練の知識を学び、作成したマニュアルを元に訓練行い、全職員に周知徹底できる様教育行う	10 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月